

T T C提案山行実施記録表

(2018/7/18 報告者 K.S.)

1. 山行名	白馬岳[2932.2m]、雪倉岳[2610.9m]、朝日岳[2418.3m] 長野県/富山県/新潟県									
2. 実施日	2018年7月14日(土)~16日(月)2泊3日 交通機関:マイカー マイカー回送(白馬安全代行)									
3. 天候/参加人数	7/14日~16日 レベル:★★★☆☆ 申込5名 参加:5名(男3/女2名)									
4. パートスタッフ	省略									
5. 参加メンバー	省略									
6. 費用 ¥34,000円 カンパ金 110円	マイカー使用料:680km×10円=6,800円、ドライバー謝礼:5,000×2=10,000円、早朝加算:300円/30分=2,100円、燃料代:680km×140円÷5=19,040円、高速道路代:行3,570円(圏央厚木IC~安曇野IC)帰3,780円(安曇野IC~圏央厚木)、マイカー回送19,600円(猿倉~蓮華温泉)宿泊代:100,000円(白馬岳頂上宿舎、朝日小屋@10,000円)、入湯料4,000円(@800円)通信費:1,000円、カンパ金:110円 合計¥170,000(一人当たり34,000円)									
7. 所要時間	歩行時間			休憩時間			行動時間			
※7/15日の山行計画では、水平道分岐から朝日小屋まで水平道、実施時は山頂経由である。	日付	7/14	7/15	7/16	7/14	7/15	7/16	7/14	7/15	7/16
	カイトブック	5:20	6:45	6:20	—	—	—	—	—	—
	計画	5:55	7:40	7:40	1:10	1:55	1:50	7:05	9:35	9:30
	実行	4:51	※8:15	7:16	1:29	2:20	1:22	6:20	10:35	8:38

実行コースタイム記録

◆ 7/14(土) 晴れ

圏央道/中央高速/長野自動車道 1:02 2:55 休30分(アイゼン脱着含) 1:49 休25分(アイゼン脱着含)
 本厚木==圏央厚木IC==安曇野IC==猿倉駐車場——白馬尻小屋——葱平(ねぶかつびら)——白馬岳頂上宿舎(泊)
 3:00 7:35~55 8:57~9:10 12:05~26 14:15

◆ 7/15(日) 晴れ

0:25 0:12 3:43 休50分 2:11 休10分 2:10 休20分 0:54
 白馬岳頂上宿舎——日の出見学場所——白馬岳山頂——雪倉岳山頂——水場——朝日岳山頂——朝日小屋(泊)
 4:00 4:25~42 4:54~5:00 8:43~9:00 11:11~20 13:30~41 14:35

◆ 7/16(月) 晴れ 海の日

0:53 2:37 休13分 0:29 1:32 休10分 2:14 休29分 0:23
 朝日小屋——朝日岳——青ザク——花園中間点——ひょうたん池——野鳥の森——白馬蓮華ロッジ==道の駅小谷
 5:17 6:10~6:15 8:52~9:01 9:30 11:02~11 13:25~32 13:55~15:00 15:45~16:35
 長野自動車道/中央高速/圏央道
 ==安曇野IC==圏央厚木IC==本厚木
 22:15

コースの概要、特記事項、反省事項等

山行計画書を作成した3月時点では、7月中旬のこの山行に若干の不安を持っていた。この時期は梅雨後半にあたり大雨が降ることがあり、雪が多く歩行が困難かも知れないと思っていた。しかし、関東甲信越地方は観測史上初の6月29日(金)に梅雨明けとなった。

山行日一週間前の天気予報では、山行当日は晴れの3日間が予測され、結果そのとおりの良い天気であった。

個人山行で猿倉から親不知まで歩くSKさんとKMさん(テント泊)の2人と7/14猿倉で合流することにした。

◆7/14(土)

マイカーを提供するATさんと2:25amラインで連絡をとり、ほぼ同時刻に自宅を出発して参加者はTSさん宅の駐車場に集合し3:00amに猿倉に向けて出発をした。

途中のサービスエリアで朝食を取り、安曇野ICで降りてからコンビニで、7/14と7/15の昼食を補充した。猿倉に向かったが八方の交差点近くの回送業者の拠点を見逃し猿倉方面に向かい、回送業者に電話をして、行き過ぎたことが分かり回送業者の駐車場まで戻った。

回送業者の車で八方の交差点付近から猿倉まで送ってもらい、猿倉で出発の準備をしているとSKさんからライン入りバスが遅れており、8:00amに猿倉に着く予定とのこと。

STさんから個人山行の2人は、我々が先に出発しても白馬尻小屋までには追い付かれてしまうので、個人山行の2人を待たずに出発しようとしたところ、7:55amに2人の顔が見えた。当然、2人の出発準備を待たずに5名は先に出発をした。

メンバーが白馬尻小屋に到着してから直ぐに個人山行の2人が着いた。ここから、少し登って大雪溪が始まる。大雪溪の入り口で6本爪のアイゼンを装着した。雪質を見ると4本爪のアイゼンでも大丈夫そうであるが、6本爪ほうが安定性が高い。アイゼンを履くと雪で滑る心配もなく雪をしっかりと掴み歩くことができ、ダブルストックを使い一步一步大雪溪を登って行く。

葱平でアイゼンを外して昼食を摂り出発した。小雪溪では、アイゼンなしでも歩けると思ったが、KMさんから『昨年ここで死亡事故が起きているんですね。』と発言があった。『アイゼン必着』との看板もあり下を見ると『なるほど、危険だ。』ということで短い距離ではあったが全員アイゼンを装着した。小雪溪を渡りアイゼンを外すと小屋まではアイゼンなしで歩くことができた。小屋までの山道では今を盛りと花が咲いており、心の中では『これを見に来たんだよね。』とほくそ笑んでいた。

順調に歩き山行計画の1時間前に白馬頂上宿舎に到着をした。7名は、白馬岳山頂付近やお花畑の散策などをして夕食まで楽しんでた。ここの小屋の食事はバイキングで美味しいと宿泊を勧めたのはKMさんであるが、そのとおりで10種類ぐらいあるおかずやケーキのデザートまであり、味付けも良く美味し夕食を頂いた。

◆7/15 (日)

事前に朝日小屋のオーナーから水平道は通行が出来ない。また、白馬頂上宿舎から朝日小屋までは距離があり、白馬岳の山頂で日の出を見ることが出来る時間に同宿舎を出発したらどうですかとアドバイスを貰っていたので、朝食を弁当にしてもらい4:00amに出発した。出発時はヘッドランプが必要であったが、直ぐに明るくなり off にした。

白馬岳の山頂は人が少なく、若干下の所に大勢の方がいる。我々もそちらの方に行ったが、東方面が開けており日の出を見るには良い位置である。日の出は4:40am頃で皆さんカメラやスマホを構えて日の出を待っていた。『出た!』と待ちわびた方の声が出た。東の空がオレンジ色に輝いていた。

日の出を満喫した我々は白馬岳山頂で一息つき記念写真を撮って雪倉岳に向けて出発をした。雪倉までは3時間ぐらいかかるが、雪溪があったり若干のアップダウンやお花畑に癒され概ねコースタイムで雪倉岳の山頂に着くことができた。雪倉岳の山頂の道標は石造りで、どなたかが『お墓みたいだね。』と言っていた。

朝日岳の水平道の通行が困難で雪倉岳山頂から約570m下って水平道分岐から朝日岳山頂まで約380m登り返さなくてはならない。水平道分岐から概ね1時間ぐらい急登でバテる一歩手前であった。若干急登が収まり、朝日岳の山頂に着いた時にはホッとした。しかし、ここから40分下らなければならないということは、明日の朝ここを登り返さなくてはならないのかと考えるとうんざりした。

7/15日のガイドブック時間を1時間30分オーバーしたのは、山行計画を水平道で計画をし、実際は山頂経由になったことと思うが、ガイドブックでは計画に25分プラスすると山頂経由の歩行時間になるので、朝日岳の登りに随分と時間を費やしたことになる。しかし、小屋への到着時間は14時35分で小屋オーナーのアドバイスのお陰と思う。ここでは、小屋の前で400円の『越冬ビール』が売っていて、通常より200円引きであった。やったと思えば2缶呑んだら、かなり効いてしまった。

この小屋の売りは夕食が豪華なことであるが、なるほど今まで小屋泊まりした夕食では一番豪華であったし、美味しかった。朝食も期待したが、普通より若干良い程度であった。

◆7/16日は5:00amから朝食とのこと。本日の行程を考え朝食後直ぐに出発できるようメンバーにお願いした。朝食は、5:00amであったが10分前に食べることができ、5:17amに出発できた。

梅海新道を歩くSKさんは3:30amには小屋を出て行ったようである。

朝日岳山頂には、1時間かからずに到着した。ここから蓮華温泉までは、アップダウンがありながらも下ることになるが、途中で雪溪が現れ、アイゼンを付けたほうが良い雪溪が2か所ほどあった。

今日も暑く上着が半袖でも汗が滴り落ちる。下りの距離が長く野鳥の森に着いた時にはホッとした。白馬蓮華ロッジで汗を流し、帰路途中の道の駅『小谷』で遅い昼食(夕食?)を摂った。各々食事の注文をしたが、全員がラーメン+ミニ天丼であったのには驚いた。

ここから、中央道経由で厚木を目指したが、小仏トンネルから25kmの渋滞にはまり、TSさん宅駐車場到着は10時15分になってしまったが、渋滞中はSTさん、KMさんの掛け合い漫談が面白く眠くはならなかった。この山行中マイカーを運転していただいたATさんや漫談コンビに感謝します。参加メンバーに恵まれ、天候に恵まれ、最高のお花畑に恵まれ、予定どおりの山行計画を実施できました。

参加していただきましたメンバーに心から感謝申し上げます。

《7/17》

梅海新道に向かったSKさんから9時amに親不知に到着したとラインが入ったが、何とタフな2人でしょう。

《特記事項》

1. 回送業者(白馬安全代行)は、信頼がおける業者だと思える。
2. 白馬頂上宿舎、朝日小屋とも夕食は満足が行くものであった。
3. 今年は梅雨明けが早く暑くて、持っていく水の量は通常より+500mlは必要であった。
4. 花が綺麗で水芭蕉、チングルマ、ワタスゲ、ヨツバシオガマ、キスゲ、ヤマホトトギス、キヌガサソウ、サンカヨウ、エンレイソウ、ハクサンフウロ、ハクサンコザクラ、ウルップソウ、イワギキョウ、コマクサ、クロユリ、マツムシソウ、ウスユキソウ等々が目を楽しませてくれた。